K미 국	有工業高等	<b>車門学</b> 校	開講年度 平成31年度 (2	019年度)	授業科目 :	シーケンス制御	
		<b>オロゴア</b> (人		() 1 J 干   X	XXTID .	- ノ / ハロリ   IPY	
<u>17口至1</u> 科目番号		5296102	9	科目区分	 AM / 選択		
770日5 授業形態		3290102	2	単位の種別と単位数		2	
開設学科		機械シス		対象学年	専1		
别設 <u>,</u> 開設期		後期	,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	週時間数	後期:4		
教科書/教			・ト配布による)	(A) 31-32A	122/431 1		
旦当教員		福田 耕油					
到達目	 標	'					
1. シー 2. 自己 3、メモ 4. レジ	ケンス制御, 保持, インクリ, タイマ, スタ, 四則	ターロック, カウンタを	てその概要を説明できる。 優先回路の構成方法がわかる。 ※利用した回路の構成方法がわかる。 ※どの応用命令を利用した回路の構成方法	去がわかる。			
ルーブリ	リック		7774 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A 1 A	1#1/# 45 + \ TIDE	~ C C	+ 70 + 1 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1			シーケンス制御と他制御と違いを 説明でき、PLCのハードウェア面や 機能面の説明ができる。	能を説明できる。		シーケンス制御の必要性が説明できない。	
评価項目	2		自己保持やインターロックを含む 回路を構成できる。	自己保持回路やイン説明できる。		自己保持やインターロックの説明ができない。 メエロータイマーカウンタの機能	
评価項目	3		メモリ, タイマ, カウンタを含む 回路を構成できる。	メモリ, タイマ, カや記述方法がわかる	00	メモリ、タイマ、カウンタの機能や記述方法が説明できない。	
评価項目			レジスタ,四則演算,比較を含む 回路を構成できる。 レジスタ,四則演算,比較機能を説明でき,記述のたかる。			レジスタ,四則演算,比較の機能や記述方法がわからない。	
	到達目標項	目との関	]係				
教育方法	法等						
既要		, 制御に  , プログ	の生産ラインで一般的に使用されている 用いられる基本的なデバイスについても ラムを構成するのに必要な基本的な機能 本的なシーケンス制御プログラムが作品	5把握する。そして, 兆やそれらの記述方?	ラダー図による	5制御プログラム構成演習を通して.	
受業の進	め方・方法	授業は <u>,</u> す。授業 をベース		基本的に2週分で1セ 記述方法について把提	ットです。前半( 星・理解できる。	は,各項目の講義と例題から成りま こうにします。後半は,前半の内容	
		ラフちり	にした味起に取り組かまり。 味思は, 1   士才 - 砕! たみけや同士でにの理題と!	受業時間内には全て解	¥答することがて を提出してもらり	できないように難易度と設問数を考	
 主意占		えてあり	ます。残した分は次回までにの課題とし	」,課題全体の解答を	¥答することがで €提出してもらい	できないように難易度と設問数を考 Nます。	
	画	えてあり	にした味題に取り組みます。 味題は、1 ます。 残した分は次回までにの課題とし 後期後半からの1授業4時間のクオータ	」,課題全体の解答を	経答することがで E提出してもらい	できないように難易度と設問数を考 Nます。 	
	画	えてあり	ます。残した分は次回までにの課題とし、 後期後半からの1授業4時間のクオータ	ン, 課題全体の解答を タ講義です	を提出してもらい	ご言ないように難易度と設問数を考 Nます。 	
	画	えてあり   本講義は   週	ます。残した分は次回までにの課題とし	ン, 課題全体の解答を タ講義です 週	を提出してもらい ごとの到達目標	できないように難易度と設問数を考います。	
	画	えてあり	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容	ン, 課題全体の解答を P講義です 週 シ P わ	ごとの到達目標 一ケンス制御と( L C とは何か説 かり、接続する	います。 よどのような制御かわかる。 明できる。 P L C の基本的な構成が	
	画	えてあり   本講義は   週   1週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本	フ, 課題全体の解答を 対講義です <u>週</u> シ P わ で ラ 接	ごとの到達目標 一ケンス制御と( L C とは何か説 かり、接続する きる。 ダー図の基本的 続と、ラダー図	います。 よどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。	
	画 3rdQ	えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本	フ, 課題全体の解答を 対講義です <u>週</u> シ P P つで ラ接	ごとの到達目標 一ケンス制御と( L C とは何か説けかり、接続するできる。 ダー図の基本的でである。 ダー図の基本的でである。 ダー図の基本的でである。	います。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。	
		えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図	フ, 課題全体の解答を 対講義です <u>週</u> シ P P つで ラ接	ごとの到達目標 一ケンス制御と( L C とは何か説けかり、接続するできる。 ダー図の基本的でである。 ダー図の基本的でである。 ダー図の基本的でである。	います。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。	
		えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週 5週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック	フ, 課題全体の解答を P講義です 週 シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自	ごとの到達目標 一ケンス制御とし L C とは何か説け かり、まる。 ダー図の基本的 続と、のダー図の基本的 続と、の基本の を用いたラダー 己保持、インタ・	います。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる	
		えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習	フ, 課題全体の解答を P講義です 週 シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自で	ごとの到達目標 一ケンス制御とし L C とは何か説け かり、ある。 ダー図の基本的 続と、のダー図の ダー図の基本的 続と、のある。 ダー図の基本的 でと、アラー と用いたラダー こ保持、インター こ保持、インター	います。 はどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる	
		えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	ます。残した分は次回までにの課題とし、 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ	フ, 課題全体の解答を 対講義です	ごとの到達目標 ーケンス制御と(L C とは何か説)かり、接続する。 ダー図の基本的が続と、一切の基本的がある。 グー図の基本的がある。 グー図の基本のである。 グー図の基本のである。 グー図の表本のである。 インターにより、インターによりまる。	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる ーロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。	
受業計		えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習	フ, 課題全体の解答を 対講義です	ごとの到達目標 ーケンス制御と(L C とは何か説)かり、接続する。 ダー図の基本的が続と、一切の基本的がある。 グー図の基本的がある。 グー図の基本のである。 グー図の基本のである。 グー図の表本のである。 インターにより、インターによりまる。	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる ーロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。	
受業計		えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	ます。残した分は次回までにの課題とし、 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ	フ, 課題全体の解答を P講義です	ごとの到達目標 一ケンス制御か説 かり、 もと、接続する。 ダー図の基本的 続と、図のラダ本本の ダー図のますが を用いた、インター こには、インター こには、ガタイン には、ガタ・ には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガタイン には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガター には、ガス・ガン には、ガス・ガン には、ガス・ガン には、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる ーロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。	
受業計		えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	ます。残した分は次回までにの課題とし、後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ演習	フ, 課題全体の解答を P講義です	で提出してもらい ごとの到達目標 一ケンスは何ます。 してりる。 してりる。 がきる。図のラダ基本的である。 がものでする。 が一個のでは、インターでは、よび、ターでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	います。  はどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 な記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる ーロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー区 動作を説明できる。	
受業計		えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	ます。残した分は次回までにの課題とし、後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ演習 カウンタ	フ, 課題全体の解答 P講義です  週 シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自で メ メを カ カタ。 レジ	で提出してもらい ごとの到達目標としてもらい ごとのシストラークによりできる。図のラは様続する。図のラは基準のではます。図のではまずでは、図のでは、図のでは、図のでは、図のでは、図のでは、図のでは、図のでは、図の	ます。  はどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 は記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる ーロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー区 動作を説明できる。 用いて、また必要に応じてメモリや わせて目的のラダー図を作成できる 動作を説明できる。入力、出力とレ	
受業計		えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	ます。残した分は次回までにの課題とし、 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タクマ メモリ・タケア カウンタ カウンタ カウンタ演習	フ, 課題全体の解答	正提出してもらい ごとの到達目の ことと接 のンスは領続する。 にとりる。ののラをである。のの方をは、ののラをである。ののた。ののためである。ののためである。 がある。ののためである。ののためである。ののでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるではないるでは、はいるではないはないは、はいるではないは、はいるではないは、はいるではないは、は、はいるではないは、はいるでは、はいるではないるでは、はいるでは、	ます。  まざのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 は記述方法がわかる。PLCの回路 との関係が説明できる。 との関係が説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて,目的のラダー区 動作を説明できる。 別作を説明できる。 別にてメモリやの対象に応じてメモリやの対象に対しました。	
受業計	3rdQ	えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	ます。残した分は次回までにの課題とし、 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タオマ メモリ・タオマ メモリ・タオマ メモリ・タオマ メモリ・タオマ メモリ・タオマ	フ, 課題全体の 解答 週 シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自で メ メを カ カタ。 レジ レカ。	正提出してもらい ごとのフスには続いている。 一ケンとは接基ダークとは接基ダークとののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののラのたっと、ののので、のので、ののので、のので、ののので、のので、のので、のので、のので	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が各種部品とその基本的な動作が説明 は記述方法がわかる。PLCの回路との関係が説明できる。 とひ出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる。 一ロックを実現するラダー図を作成 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー図 動作を説明できる。 別作を説明できる。 別になるといる。	
主意点 受業計	3rdQ	えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タターフ カウンタ カウンタ カウンタ レジスタ レジスタ演習	フ : 講義です	正提出してもらい ごとの到達目のでは、 一个に対する。図の一切に対する。図の一切に対する。図の一切に対する。図のでは、 一のでは、 をののでは、 ののでは、	います。  まどのような制御かわかる。 別できる。PLCの基本的な構成が各種部品とその基本的な動作が説明な記述方法がわかる。PLCの回路との関係が説明できる。 といる出力要素を示すことができ、そ図を作成できる。 ーロックを実現するラダー図を作成できる。マの機能や動作を説明できる。マの機能を動いて、目的のラダー区動作を説明できる。マの機能を用いて、目的のラダー区動作を説明できる。 別いて、また必要に応じてメモリやのかる。 別にては、またが要に応じてメモリやのかる。 別にないまたがある。 別にないます。	
受業計	3rdQ	えてあり 本講義は 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	ます。残した分は次回までにの課題とした 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タイマ リック カウンタ カウンタ カウンタ カウンタ カウンタ カウンタ ままとめ演習 匹則演算・比較演習 まとめ演習 まとめ演習	フ 講義です 過シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自で メ メを カ カタ。 レジ レカ。 四 四変 こ	正提出してもらい ご とと の ス に	います。 はどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 は記述方法がわかる。PLCの回路との関係が説明できる。 といいまかできる。 ロリクの機能や動作を説明できる。 ロリクを実現するラダー図を作成 できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー図 動作を説明できる。 別かる。 およた必要に応じてメモリやのけせて目的のラダー図を作成できる。 別が作を説明できる。 別が作を説明できる。 別が作を説明できる。 別が作を説明できる。 別が作る。 別が作を説明できる。 別が作る。 別が作る。 別が作る。 別が作る。 別が作る。 別が作る。 別が作る。 別が作る。	
受業計	3rdQ 4thQ	えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・ターマ オウンタ カウンタ カウンタ レジスタ レジスタ ロリ演算・比較 四リ演算・比較演習 まとめ まとめ 東国 定期試験	フ 講義です 過シ Pわで ラ接 ラれ 自。 自で メ メを カ カタ。 レジ レカ。 四 四変 こ	正提出してもらい ご とと の ス に	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が各種部品とその基本的な動作が説明な記述方法がわかる。PLCの回路との関係が説明できる。 との関係が説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー図を作成できる。 おいて目的のラダー図を作成できる。 別作を説明できる。 別作を説明できる。 別にてメモリやる 別作を説明できる。 別にては、また必要に応じてメモリやるの世ではできる。 別にては、また必要に応じてタイできる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。 別にないまたができる。	
受 <b>業</b> 計に	3rdQ 4thQ	えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 7月	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ演習 カウンタ カウンタ カウンタ レジスタ レジスタ レジスタ レジスタ 四則演算・比較 四則演算・比較 四則演算・比較演習 まとめ演習 定期試験 プ学習内容と到達目標	フ 講義です	正提出してもらい ご とと の ス に	ます。 はどのような制御かわかる。 別できる。PLCの基本的な構成が 各種部品とその基本的な動作が説明 との関係が説明できる。 との関係が説明できる。 な入出力要素を示すことができ、そ 図を作成できる。 ーロックの機能や動作を説明できる。 ーロックを実現するラダー図を作成 での機能や動作を説明できる。 マの機能や動作を説明できる。 マの機能を用いて、目的のラダー図 動作を説明できる。 用いて、また必要に応じてメモリや のせて目的のラダー図を作成できる。 おいて、また必要に応じてメモリやのせて目的のラダー図を作成できる。 別いて、また必要に応じてメモリやのせて見的のラダー図を作成できる。 別いて、また必要に応じてタイマやのしてして見いのラダー図を作成できる。 別いては、また必要に応じてタイマやのかでは、また必要に応じてタイマやる。 おいて、また必要に応じてタイマやのかでは、また必要に応じてタイマやのかでは、また必要に応じて必要をが作成できる。 ことができる。 ことができる。	
受業計	3rdQ 4thQ	えてあり 本講義は 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週	ます。残した分は次回までにの課題として 後期後半からの1授業4時間のクオータ 授業内容 シーケンス制御の基本 PLCの基本 ラダー図 ラダー図記述演習 自己保持・インターロック 自己保持・インターロック演習 メモリ・タイマ メモリ・タイマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・タターマ メモリ・ターマ オウンタ カウンタ カウンタ レジスタ レジスタ ロリ演算・比較 四リ演算・比較演習 まとめ まとめ 東国 定期試験	フ 講義です	正提出してもらい ご とと の ス に	ます。  まどのような制御かわかる。 明できる。PLCの基本的な構成が各種部品とその基本的な動作が説明 は記述方法がわかる。PLCの回路との関係が説明できる。 との関係が説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 ロックの機能や動作を説明できる。 マの機能を動いて、目的のラダー図を作成できる。 おいて目的のラダー図を作成できる。 別作を説明できる。 別作を説明できる。 別にては、また必要に応じてメモリやるいせて目的のラダー図を作成できる。 別にて見いてきる。 別にないまた必要に応じてタイマきる。 別にないまた必要に応じてタイマきる。 別にないまた必要に応じてタイマきる。 別にないまた必要に応じてタイマきる。 別にないまた必要に応じて必要に応じて必要にないできる。 別にないまた必要に応じて必要にないまた必要に応じて必要にないまた必要に応じて必要にないまた必要に応じて必要ない。	

総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	20	0	0	0	0	0	20
専門的能力	40	30	0	0	0	0	70
分野横断的能力	0	10	0	0	0	0	10